

GY701 アップデート機能説明 (バージョン 1.10)

このアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

■ガバナ・ベーシック設定

ギヤ比設定

※「ギヤ比設定」の設定範囲拡大

ギヤ比設定範囲を、1.00 ～ 50.00 まで拡大しました (従来は 3.00 ～ 30.00)。

ギヤ比を 1.00 に設定して、マグネット 1 個をメインギヤに装着する搭載方法も使用可能となりました。

■ガバナ・エキスパート設定

ガバナゲイン

※「ガバナゲイン」にリモートゲイン機能を追加

従来のマニュアル設定に加えて、送信機から感度設定が可能な、リモートゲイン機能を追加しました。リモートゲイン機能は、S.BUS 動作時のみ有効となります。

【リモートゲイン機能の設定方法】

- S.BUS・ベーシック設定画面に新たに追加された、GvG: 設定チャンネルを呼び出します。初期値は INH ですが、送信機の空きチャンネルを設定します。GvG にチャンネル設定後は、リモートゲイン機能が有効となります。

S.BusCN7
GvG: INH

- リモートゲイン機能が有効になると、ゲイン表示画面が、RMT: 表示になり、ガバナゲインのモニタ表示に切り替わります。PWM 動作時は、切り変わりません。

Gv.Gain
40 % → **Gv.Gain**
RMT: 83%

【送信機側の設定】

- 3 軸ジャイロの設定機能を持った送信機 (T14MZ, T12Z, T12FG, T8FGsuper など) を使用している場合、Gyro2 または Gyro3 のジャイロ機能を利用して、フライトコンディションごとに、ガバナゲインの切替が可能となります。ガバナ感度は、AVCS、Normal どちらの設定にしているても動作可能です。送信機で設定したゲイン値が、ガバナゲインとなります。
- 専用ミキシングを持たない送信機の場合、空きチャンネルにガバナ感度切替チャンネルを設定します。そのチャンネルに切替スイッチを割当てます。エンドポイントのレートを調整して、スイッチを切替たとき、それぞれ希望の感度に設定します。

バッテリーフェールセーフ電圧設定

※「ローリミットアイドルアップ」の次に追加

BFS.Volt
3.8 v

初期値: 3.8 v

設定範囲: 3.5 ～ 7.5 v

バッテリーフェールセーフ動作電圧及びローバッテリーアラーム電圧を設定します。使用するバッテリーの種類に従い設定します。電池特性はメーカーにより異なるため、アラームが発生してから、1フライト程度 (5 ～ 10 分) のバッテリー残量になるように設定してください。DATA+/- キーを押すごとに値が増減します。電圧設定の目安を以下に示します。

- 4 セルニッカド又はニッケル水素電池 (定格: 4.8v) の場合: 3.8 v
- 2 セルリチウムフェライト電池 (定格: 6.6 v) の場合: 6.0 ～ 6.2 v
- 2 セルリチウムポリマ電池 (定格: 7.4 v) の場合: 7.2 ～ 7.4 v

回転数設定範囲

※「バッテリーフェールセーフ電圧設定」の次に追加

Low.Revo
1000rpm ⇔ **Low.Revo**
700rpm

初期値: 1000 rpm

最小回転数設定範囲を選択します。従来は、最小値 1000 rpm でしたが、700 rpm まで設定できるモードを追加しました。大型ガソリン機など、ロータ回転数が 1000 rpm 以下のヘリにも対応します。

設定後は、ガバナ・ベーシック設定の回転数設定範囲が変わります。また、本バージョンから、最大回転数設定範囲が、4000 rpm に拡大されています (従来は 3000 rpm)。小型ヘリなど、高回転で動作するヘリに対応します。

注意: 高回転で回るロータには、大きな荷重がかかり、ロータブレードの脱落、ヘッドの破損等が発生する危険性があります。ヘリ、ロータの強度限界以上の回転数設定をしないで下さい。

ガバナオン回転数設定 (ガバナエキスパートメニューの "StartDly" の次に追加)

On.Revo
60 %

初期値: 60%

設定範囲: 50 ～ 90%

ガバナがオンになる回転数の設定を行います。初期値は 60% です。この場合、エンジン回転数が、設定回転数の 60% を超えるまで、ガバナはオン動作になりません。ガバナのスタート時間が遅い場合、設定値を上げると、スタート時間が早くなります。

■ジャイロ・エキスパート設定

センサモード

動作をより安定化するため、初期値を、Middle から Moderate に変更しました。アップデート後は、Moderate に自動的に切り替わります。元に戻したい場合は、メニューを呼び出し再設定してください。

■ S.BUS・ベーシック設定

ガバナゲインチャンネルの追加

S.BUSCN7
GUG: INH

初期値: INH

ガバナリモートゲインチャンネルが追加されました。

■ データ保存時のアラーム表示の追加

GY.Dir
Normal

データ設定を変更した時、メモリーにデータを書き込む間、画面右下に時計シンボルが点滅します。

重要: この表示の最中は、電源を絶対切らないようにしてください。この表示最中に電源を切ると、データエラーが発生し、全データが初期化されてしまいます。メモリーへの書き込みは、約2秒掛かります。

[アップデート時の注意]

ソフトウェアアップデート後、いったん電源を切り、その後再起動した時に、必要なパラメータは自動的に更新されます。従って、再起動後、約5秒間は電源を切らないで下さい。従来の設定データはそのまま継承されますが、念のため、ジャイロの動作方向やガバナ設定値を確認してから、飛行を行うようお願い致します。

●本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。●本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。●本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明の点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。●お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。